

## 柏木 B 遺跡環状土籬出土品

### ■ かしわぎ B いせきかんじょうどりしゅつどひん

恵庭市指定文化財

指定年月日 平成 25 年 5 月 7 日

所有者 恵庭市教育委員会

所在地 恵庭市郷土資料館

152 点(石棒 12 玉類 140)

年代 縄文時代後期後葉

(約 3,000 年前)



昭和 52～54 年度、市内柏木町の茂漁川左岸段丘上で行われた農地基盤整備事業に伴う発掘調査によって、縄文時代後期後葉の集団墓地「環状土籬(かんじょうどり)」を調査し、1～3 号環状土籬から多数の土坑墓(どこうぼ)が検出されました。この土坑墓群から、副葬品として石棒、玉など多数の遺物が出土しました。これらは当時の北海道の葬制、習俗、装身文化を伝える資料として重要で、日本列島における縄文時代の社会構造を考えるうえで貴重な考古資料です。

